

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年7月12日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年6月17日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	ハンガリー
留学先大学	エトヴェシュ・ロラード大学 (日本語名)  Eötvös Loránd Tudományegyetem (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ハンガリー語/英語
留学期間	2024年9月～2025年7月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 人文学部 現地言語での名称: Faculty of Humanities  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬～7月下旬 2学期: 9月中旬～2月上旬	1学期: 9月上旬～1月下旬 2学期: 2月上旬～7月上旬 3学期: 4学期:
学生数	40000人
創立年	1635年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (HUF) (1 現地通貨 = 40 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため授業料はなし。
宿舍費	1,350,000	543,847 円	
食費	834,403	360,000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	133,200	57469 円	
現地交通費	3450	円	定期券の値段。 ( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		120000 円	
被服費	115,889	50000 円	
医療費	104,300	45000 円	この費用はあとで保険会社に請求することができる。
保険費		124700 円	形態: 明治大学からの保険
渡航旅費		200,488 円	
ビザ申請費	24000	円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	(= 円)	円	全て合わせて大体 120,0000 円ほど。
総計(A+B) ※円		円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地：羽田国際空港      目的地：リスト・フェレンツ国際空港      経由地：仁川国際空港

復路 出発地：リスト・フェレンツ国際空港      目的地：羽田国際空港      経由地：ドバイ国際空港

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：大韓航空とポーランド航空      料金：110,180

復路 航空会社：エミレーツ航空      料金：90308      ∴合計：200,488

### 航空券購入方法

旅行代理店(店名： )

インターネット(サイト名：Skyscannar)

その他( )

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： )       アパート       ホームステイ

2) 部屋の形態

個室       相部屋(同居人数 )

3) 共有部分

バス       トイレ       キッチン( 自炊可       自炊不可)

4) 住居を探した方法：

現地の友人の紹介

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

滞在先はとても居心地良かったです。私の友人曰く住居先は早く探したほうがいいところが見つかるらしいです。また、大学外のサイトでシェアハウスを見つけるのもありだと思います。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: Duna Medical Clinic)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の友人からこの地区が危険か、またどうすれば盗難を防げるかなどの情報を得た。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アパート周辺の電波が悪い時があったのでwifiを購入した。それからはあまり問題はなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Wise という国際的に使えるデビットカードを主に使っていて、親からの送金はそこに振り込まれた。また、旅行前は自分の日本のクレジットカードからそこにお金を送金してお金を使っていた。(日本のクレジットカードで支払いをすると支払い毎に手数料がかかるため)

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

ブダペスト郊外に Duna Panda という都心部よりも比較的安く東アジアの商品が手に入るスーパーマーケットがあるので、あまり遠くに行くのが苦でない限りあまりないと思う。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
50 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
American culture		アメリカ文化
科目設置学部・研究科	Faculty of Humanities	
履修期間	一学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Olivia Taylor Murr	
授業内容	アメリカの文化や歴史、社会システム、政治について学ぶ。毎回授業のトピックにそって自分の見解や、アメリカ比べて自国はどうかなどのディスカッションもする。	
試験・課題等	プレゼンテーションと学期末試験、あとは毎週出るリーディング。	
感想を自由記入	この授業はアメリカに対する自分の常識が大きく覆った授業だと思う。どうしてアメリカにたくさんの方が移住し始めたのか、なぜアメリカ人はハードワーカーだと言われているのかなどたくさん興味深いトピックを集めた授業だと思った。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
American English	アメリカ英語
科目設置学部・研究科	Faculty of Humanities
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Anna Rommel
授業内容	アメリカ英語とイギリス英語の違いを言語学の観点から深く学ぶ。
試験・課題等	プレゼンテーションが2回、あとは中間テストと学期末テストがある。
感想を自由記入	先生の授業の進め方がフランクでとても良かった。またプレゼンテーションは2人1組になってやり、途中でゲームを挟まなくてはいけなかったのが斬新だった。クリエイティブな人には持ってこいの授業だと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
American Language Development 1	アメリカ言語の発達
科目設置学部・研究科	Faculty of Humanities
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	William Collins
授業内容	人前でのスピーチ、あとは人を説得、納得させるようなスピーチのやり方を教えてくれるような授業。また、先生が毎週トピックを出してそれについてクラスみんなでディベートをする。
試験・課題等	中間の説得スピーチと学期末の模擬裁判のスピーチ。
感想を自由記入	学期末の模擬裁判のスピーチは「コロンブスは悪人か否か?」というトピックを中心に、生徒各々が被告人組と検察官組に分かれ、先人になりきった上で意見を主張すると言うもので、とても面白かった。私はカスティリヤ王国の女王イザベルになりきって被告人組に立ったがその時代背景やコロンブスとの関係を考慮した上で自分の主張を作らなくてはいけなかったので歴史をも深く学ぶことができたし、思考の柔軟性が養われた気がする。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Central Europe in a Globalized World	グローバル化した世界における中央ヨーロッパ
科目設置学部・研究科	Faculty of Humanities
履修期間	二学期
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Byrappa Ramachandra
授業内容	毎週クラスみんなでディベートピックを決めそれについて話し合うと言うもの。トピックは哲学的なものから政治的なものまで様々。
試験・課題等	なし
感想を自由記入	個人的にこの授業は数ある受けた授業の中で一番ユニークで刺激を受けた授業だ。また先生が何よりも個性的で面白く、「生徒に教えるよりは考えさせる」をモットーにしているらしい。先生からは込み入ったことまで聞かれ、それをクラスで発表する形なので覚悟も少し必要だと思った。またクラス後にクラスメートみんなでカフェに行ったりピクニックに行ったりもした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Contemporary Challenges for the Society	社会の現代問題
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Science
履修期間	二学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Gabor Zoltan
授業内容	ヨーロッパで起こっている様々な社会問題を「何が本当の正義か」という観点から学ぶ。
試験・課題等	毎週の課題はなく、学期末のグループプロジェクトのみ。
感想を自由記入	様々な面での「正義」や「平等」と言うコンセプトを学ぶことができたので、個人的には哲学的な要素も入った授業だと思う。先生が毎回自分の赤ちゃんを連れて抱っこをしながら授業をするので毎回可愛い赤ちゃんを見に行くのがささやかな楽しみだった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Elective English-speaking Culture Seminar: Australia Through Documentaries	英語圏文化の選択科目セミナー:ドキュメンタリーを通してのオーストラリア
科目設置学部・研究科	Faculty of Humanities
履修期間	二学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Holló Dorottya Dr.
授業内容	オーストラリアの社会問題、特にアボリジニとの関係性について学ぶ。指定されたドキュメンタリーを毎週見た上でそれについてどう思ったかをクラスみんなで意見交換する。
試験・課題等	毎週ドキュメンタリーを見た上でわからない単語をメモし、Vocabulary list を作って提出。またプレゼンが2回、エッセイも2回あり、学期末テストが最後にある。
感想を自由記入	個人的にこの授業は受けた授業の中で一番やることが多いと思った。また、毎週でるドキュメンタリーは字幕が出ないので内容についてのメモを取るのが大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Elective seminar in English-Speaking Cultures Specialization: Communicating Across Cultures	英語圏文化の選択セミナー専門分野:異文化コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Faculty of Humanities
履修期間	一学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Pohl Uwe
授業内容	違う国籍、バックグラウンドを持った人々どう関わっていくかなどの異文化コミュニケーションをディスカッションを通して学ぶ。
試験・課題等	毎週授業で学んだ内容に関する課題が出る。また学期末には試験とエッセイがある。
感想を自由記入	異文化コミュニケーションについては個人的にとっても興味があったのでとても興味深い授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Elective seminar in the history of the United States: British vs American culture	アメリカの歴史における選択セミナー:イギリス vs アメリカ文化
科目設置学部・研究科	Faculty of Humanities
履修期間	二学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Jack Langlay
授業内容	アメリカ文化とイギリス文化の違いについて学ぶ。伝統文化からサブカルチャーと、その範囲は幅広い。授業の最後に先生が授業の内容にまつわるトピックを提示し、それについてグループで調べ、見つけたことを発表する。
試験・課題等	学期末にプレゼンテーションとテストがある。
感想を自由記入	「アメリカとイギリスにいるヒーローとヴィラン」などのマイナーなトピックも取り扱うのでとても面白かった。授業の最後のミニリサーチとミニプレゼンテーションを通して少ない時間で必要な情報を得るスキミング力が向上したと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English for Specific Purposes	特定の目的のための英語
科目設置学部・研究科	Faculty of Humanities
履修期間	一学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Timea Tiboldi
授業内容	この授業では特定の分野や職種に特化した英語(ESP)をどう人に教えるかを学ぶ。
試験・課題等	ポートフォリオの作成(自分が特定の分野に沿った英語の先生になったつもりでシラバス、授業スケジュールの作成などを行う。)、プレゼンテーション
感想を自由記入	ESP のコンセプトはこの授業から知れたのでとても勉強になった。また、自分の担当したい職種に特化した英語を教える先生になったつもりでシラバスを作成するので、いろいろな職種のことや、その専門用語などもリサーチを通して学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
General Hungarian Language	ハンガリー語全般
科目設置学部・研究科	institute of language midiation
履修期間	一学期
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Gabor Sass
授業内容	ハンガリー語を学ぶ授業。この授業は超初級編。
試験・課題等	毎回授業でやった内容の課題が出る。また学期末テストもある。
感想を自由記入	現地の言語を少しでも理解したくて取得。私的に少し難しかったが買い物に行く時や外に出た時にあまり困らなくなった。また難しい分やりがいもある。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Hungarian culture and society	ハンガリーの文化と社会のイントロダクション
科目設置学部・研究科	Institute of Education
履修期間	一学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Gulya Nikoletta Mária
授業内容	ハンガリーの文化や歴史、社会問題について学ぶ。各々プレゼンのトピックを決めて毎週複数人が発表していく授業スタイル。これは二週間に一回の授業だった。
試験・課題等	プレゼンテーションのみ。
感想を自由記入	この授業はプレゼンテーションを一回すれば単位がもらえるのでとても簡単だった。しかし条件がいくつかあり、1人20-30分のプレゼンなので早いうちから準備しておくのが吉だと思った。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Migration	移民論
科目設置学部・研究科	Department of European studies
履修期間	秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Soltész Béla László
授業内容	ヨーロッパの移民政策、難民、移民の人たちがどのようにして生計を立てているのかについて学ぶ。
試験・課題等	学期末テストのみ。
感想を自由記入	この授業ではどうしてヨーロッパの保守的国々は移民受け入れを制限しているのか、人々がどのような動機でテロに走るのかなどの内容も取り扱っていてとても興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Jewish History and Culture in Central Europe	中央ヨーロッパにおけるユダヤ人の歴史と文化
科目設置学部・研究科	Department of Economic and Social History
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Szivós Erika
授業内容	名前の通り、ユダヤ人の歴史と文化を本を通して学ぶ。
試験・課題等	毎週でるリーディングと学期末のグループプレゼンテーション。
感想を自由記入	この授業は毎週でるリーディングの量が多かったと感じる。しかしこの授業を通してユダヤ人やハンガリー内でユダヤ人が多く集まっていた場所、シナゴグの特徴などの理解が深まったと思う。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	留学選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	航空券購入、滞在先確保
	8月～9月	出国
	10月～12月	在留カード申請、一学期中間試験、期末試験
留学/帰国年	1月～3月	二学期開始
	4月～7月	二学期中間、期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がハンガリーを留学先に選んだ理由は、慣れない環境に自分の身を置いて、自分を人間として成長させたかったからです。現地の言葉が日本語でも英語でもなく、ハンガリー語という未知なる言語に囲まれて、文化や生活習慣も全く違う環境に一人暮らしという選択をすることで、新たな発見や関心、問題解決能力や独立心を育めると思いました。またハンガリーは物価が他の留学先と比べて安いです。その分自由にお金を使える範囲が増え、いろいろな経験をすることができると思ったのも理由の一つです。さらにハンガリーは日本人が長期滞在を希望するメジャーな国ではないと思います。あまり知られていない国の文化や人々、政治情勢などを実際に行ってみて学んでみたいと思いました。

ハンガリーは交通機関がとても便利です。ハンガリーパスを買えば一ヶ月 1890huf(日本円で約 814 円)のみでブダペストのみならずハンガリー中をそれを使って旅行できます。またトラムやバスも夜遅くまで稼働しているのでタクシーを呼ぶ必要がありません。また奨学金制度が発達しているのもあり、ヨーロッパからの留学生在がとても多いです。そのため様々なバックグラウンドを持った人々と関わることができます。建物や街の景色もとても綺麗で圧倒されました。ヨーロッパ調の装飾がされてある図書館も大学含めたくさんあったのでとてもおすすめです。言語に関してはブダペスト内だとほぼ英語は必要ではないと思います。しかし他の都市、特に田舎は英語を話さない人がほとんどだと感じました。

留学生活において行動力はとても大切です。自分から行動していろいろな人と出会って関わり合い、いろいろな経験をすることで自分を人間として成長させることができます。